

大銀杏

おいちよう

令和2年2月3日
節分号 第4号
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054
さいたま市浦和区東岸町1-29
電話 048-882-2835
FAX 048-883-9848
ホームページ
浦和 円藏寺 検索

日蓮大聖人のお言葉

法華経を信ずる人は

冬のごとし

冬は必ず春となる

いまだ昔よりきかず、

みず、冬の秋とかえれ

る事を

妙一尼御前御消息

日蓮大聖人のお言葉に触れ、日々の生活の指針を求めたいと思います。
このお手紙は、大聖人54歳の時、身延山から信者の妙一尼へと書かれた一説です。夫亡き後、老母と幼子を抱え、不遇の中にあっても、懸命に信仰を通した妙一尼への励ましのお言葉に大聖人の優しさを感じます。

「仕事がうまく行かない。人間関係で思い悩んでいる。」
生きていると私たちは、多くの悩み、苦しみと出会います。
私は、大学時代、登山サークルに入っていました。そこで出会った一人の同期。彼は、自分の楽しみ以上に目の前の人が笑顔になるために必死になるような男でした。彼の存在もあり、私はそれまでなかった楽しい日々を過ごすことが出来ました。彼との思い出はたくさんありますが、そんな彼と口論になった時に言われた言葉は今も心の中に残っています。

「お前は口だけで何もしてくれないじゃないか」

誰かのために必死になっている彼からしたら、私はただただ自分のためだけに楽しんでいただけなのです。普段弱さを見せない彼が口にした言葉。結局私は、彼の言葉、想いにしつかりと返すことのできないまま卒業を迎え、それぞれの道を歩み始めました。

それからしばらくして一人の同期からもらった一本の連絡。

「あいつが死んだ」私は目の前が真っ暗になりました。ただただ泣き、学生の時、苦しんでいた彼のことを助けられなかった自分を悔いました。大事な友人を亡くし、これ以上の悲しさはありませんでした。いくら泣いても彼が戻ってくることはもうありません。しかし、彼の想いを生き続けさせることは出来るはずでした。このまま泣き続けていても彼に恩返しは出来ない。私は大学の頃、彼に言われた言葉を思い出し、僧侶として出来る事をそれから改めて模索し始めました。彼が私に笑顔を覚えてくれたように、今度は私が誰かの笑顔の助けになりたい。自然と出た答えでした。今、お寺で様々な活動をしているのも、彼の影響かもしれません。

人を失う悲しみはそう簡単に過ぎ去るものではありません。しかし、大聖人は、「冬は必ず春となる」と仰っておられます。その冬がどんなに長くとも必ず春を迎えるのです。辛い事があっても、真っ直ぐと前を向き続ける姿はお釈迦さまが必ず見てくださっています。今は苦しくても必ず光明は差しってきます。辛い時間は、大事な事に気付くための大切な時間でもあるのかもしれない。(良海)

立川談慶 開運落語会



立川流真打・立川談慶師匠！
落語の前には、日蓮宗の加持
祈禱を行い、開運祈願！

布施：2,000円（学生 1,000円）
全席自由席・小学生以上
第17回 2/9(日) 13:00~15:00頃
第18回 4/11(土) 13:00~15:00頃
第19回 6/16(火) 18:00~20:00頃
第20回 8/4(火) 18:00~20:30頃※
第21回 10/13(火) 18:00~20:00頃
第22回 12/19(土) 13:00~15:00頃

※第20回のみ事前申込み制。後日ご案内
特別ゲスト 立川談笑師匠（予定）

円蔵寺では、「学びと憩い」をテーマ
に様々な企画を催しています。
「お寺に行くのは法事の時だけ？」
いつでも笑顔でお待ちしております。
お釈迦さまの教えは今をイキ
イキと生きる智慧の宝庫。円蔵寺
で新しい自分と出逢いましょう！

写経会



日常を離れ、静かなお寺で、
経文と向き合うひととき。

10:00~11:45頃（月1回）
初めての方は15分前にお越しください。
写経の心得・作法を説明いたします。

定員：10名程
参加費：基本無料（納経料 1,000円）

※2回目以降継続の方は、写経セット
（4,000円）をご購入ください。

持ち物：書道用具一式
貸し出しの筆ペンもごございます。

信行会(護持正法会)

10:00~11:45頃 布施：1,000円
（毎月8日・大法要の月はそこに準ずる）
お経を読む会です。前半には、お経の読み方・お経
の意味・仏事作法等をご一緒に勉強します。

学びと憩い 寺子屋円蔵寺 Terakoya enzouji

申込不要・どなたでも参加OK!

今後の予定→→→



法話会

13:00~14:00頃（毎月1回）2/22(土) 3/28(土) 予定
説者：副住職・加藤良海 参加費：無料
法話を聞く会です。令和2年2月新たに始まります！
ご一緒に仏様の教えを学びましょう！

オレンジカフェ圓蔵寺



13:30~15:30（原則・毎月最終水曜日）
内容：簡単な写経・法話・トピックス
体操・お茶会・みんなの歌
参加費：300円
共催：尚和園・浦和ともとも会

お寺でゆったり過ごすお茶会です。
毎回様々なトピックスがあり、お楽しみいただけます。ミニ法話もあります！
赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまでお気軽にお越しください。



行事参加で、参加録カードに
スタンプを押印。
たくさん集めると・・・！

寺ヨガ tera yoga



10:00~11:05頃（月2回）
お寺のヨガは初心者大歓迎！
体がかたい方でも大丈夫、寺ヨガをはじめて、毎日を元気に過ごしましょう。
持ち物：ヨガマット（またはバスタオル）
更衣室もごございます。
参加費：700円(1レッスン)
講師：おのりえこ先生

仏様の前で簡単ヨガ！毎回ミニ法話
もあります。お子様も一緒にどうぞ！
終了後、お時間のある方は、お茶会で
ひとやすみしてってください。

ブログ [かんたんヨガ おのりえこ](#)

インドを訪ねて

副住職・良海のインド旅行記2

お釈迦さまは、インドと国境を接するネパール西南部ルンビニーで誕生しました。誕生年については諸説ありますが、紀元前463年と推定されています。

どちらかと言うと騒々しいイメージのインドですが、国境を越えてネパールに入った瞬間から何とも言えない穏やかな空気を感じます。第2回では、ご生誕の地「ルンビニー」故郷「カピラバストゥ」をご紹介します。

お母様の摩耶夫人が、お産のために実家へと里帰りする途中、ルンビニーの花園で休んでいた際、夫人の脇の下より姿を現し、お釈迦さまはご誕生されたと言われます。神格化された伝説の中でも、誕生の地に関しては歴史的事実とみなされています。お釈迦さまは、この世に出てすぐ7歩歩き、「天上天下唯我独尊」と宣言されました。生まれたばかりの釈尊の相を占ったアシタ仙人は、その比類ない宗教家としての将来を予言し、自らの余命が短いので、その教えを聞く事が出来ない事を悲しんだと言います。さて、お釈迦さまの故郷はと言いますと、釈迦族の首都カピラバストゥです。現在、その都城跡と推定される場所は、ネパール側とインド側の2箇所にあります。私は、両方とも訪れ、根拠のない個人的な印象ですが、ネパール側の候補地に降り立った際、その穏やかな風に釈迦族の在りし日の姿を自然と思ひ浮かべました。釈迦族の王子としてご誕生されたお釈迦さまですが、ルンビニーから戻った摩耶夫人は出産して7日目に亡くなってしまい、その妹に育てられる事になります。(ちなみに彼女は、後に出家をし、女性として初めての仏道修行者となります)王子は、冬・夏・雨季のための3つの宮殿で何不自由ない生活を送り、16歳の時に結婚し、一子ラーフラをもうけたと伝えられます。



釈迦族の城があったとされるカピラバストゥ。特別、塀などで囲っておらず、城跡の煉瓦などがそのままある。有名な生老病死の悩みもここであったのかと思うと何とも言えず感慨深い。

「誕生の地・故郷」



釈尊生誕の地にある石碑。釈尊の足跡とも言われる。



摩耶夫人を祀る祠堂の内部。摩耶夫人のお像は異教徒によって破壊されている。

王子の時、お釈迦さまは、どのような方であったのでしょうか。伝説によると、物思いにふける性格であったと言います。「古い・病・死」という避けがたい現実の姿を目の当たりにした時、青年期の熱い意気が消え失せ、これが出家の大きな理由になったとも言われます。私がこの地を訪れた時、釈迦族の子孫かもしれない子供たちが屈託のない明るい笑顔で遊んでいたのが印象的でした。もしかしたら王子の時、時には、城を抜け出して遊んでいたのかも：煉瓦だけが残る城跡を歩きながら色々なことを想像しました。(続)

暦

こよみ



二月(如月)

- 2日(日) 節分会星祭り (午前10時半)
 - 7日(金) 寺ヨガ (午前10時)
 - 9日(日) 開運落語会 (午後1時)
 - 18日(火) 写経会 (午前10時)
 - 22日(土) 法話会 (午後1時)
 - 26日(水) オレンジカフェ (午後1時半)
 - 28日(金) 寺ヨガ (午前10時)
- ## 三月(弥生)
- 8日(日) 寺ヨガ (午前10時)
 - 11日(水) 写経会 (午前10時)
 - 20日(金) 春季彼岸会法要 (午前10時半)
 - 25日(水) オレンジカフェ (午後1時半)
 - 27日(金) 寺ヨガ (午前10時)
 - 28日(土) 法話会 (午後1時)

※春のお彼岸

3月17日～23日

☆どの企画も申込不要、どなたでもご参加いただけます。

☆法務の関係で急遽日程を変更する場合がございます。詳細はホームページをご覧ください。お寺までお問い合わせください。

☆ホームページは、QRコードを読み取っていただくか、浦和円蔵寺で検索！

Facebook も日々更新中。

「いいね！」お待ちしております。

